

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	241	学校名	仙台市立吉成中学校	校長名	飯田 毅
------	-----	-----	-----------	-----	------



1 テーマ 「地域との連携や委員会活動を中心とした環境教育活動の取組」

## 2 取組の紹介

本校の学区内には林や公園などが点在し、自然豊かな環境にあります。この地域の豊かな環境を守り引き継いでいくために、本校の環境教育・ボランティア活動の中核を担っている生徒会組織の1つ「よしボラ」が中心となって活動してきました。今年度も以下の3つの活動を中心に取り組みました。

### (1) 落ち葉掃きボランティア活動(「よしボラ」・全校生徒)

毎年恒例となっている学区内の公園や道路の落ち葉掃き活動「全校よしボラ」を、11月12日によしボラ委員会が中心となって全校生徒が参加して行いました。地域連携や小中連携を兼ね、地域の方々や吉成小学校の5・6年生の児童らと共に清掃活動を実施し、地域の公園など6か所で大量の落ち葉を集め、落ち葉を詰め込んだ回収袋が合計で約125袋分になりました。この活動を通して、地域への感謝の気持ちと地域とのつながり、そして、より良い地域をつくろうとする気持ちを再確認し、地域の美化と安全、そして環境整備に貢献することができました。

### (2) 雪かきボランティア活動(「ゆきボラ」)

本校は仙台市西部の丘陵地にあるため、積雪量が多い地域です。雪の降った朝には、「ゆきボラ」として集まったボランティアの生徒たちが雪かきを行い安全な環境づくりに貢献しています。「ゆきボラ」募集のポスターを12月初め頃から掲示して生徒に呼びかけました。今年度の最初のゆきボラは1月16日に実施しました。この日は24名の生徒が「ゆきボラ」として参加しました。生徒たちは前日の予報や当日の雪の状況などからそれぞれが判断し「ゆきボラ」として自主的に参加し意欲的に活動しています。

### (3) PTA緑化活動(「大人もよしボラ」校内の花壇の苗植え)

保護者ボランティアによるPTA緑化活動が11月13日に行われました。地域の方の協力もいただき活動しました。今年度も生徒が花壇の花の配置をデザインし、冬から春にかけての花苗(ビオラや葉ボタン、チューリップ)をそれにそって植えました。生徒や保護者、地域が協力して地域の自然環境の一端である校内の環境を整えることができました。

## 3 取組の成果

「よしボラ」を中心とした3つの活動で、今年度も地域の環境整備、住みつづけられるまちづくりに貢献することができました。これらの活動を通して、自分たちが住む地域の自然環境や良さを知り、様々な人と関わり協力しながら、共に住みつづけられるまちづくりを支えていくことの大切さを学んでいると感じています。そして、地域との連携や小中連携をしながら、この地域の人たちと共に、地域の環境整備に貢献しています。「よしボラ」は、上記の取組以外にも地域の行事(夏祭り)などへの参加や手伝い、夏休みに実施した「てらこや」、ニュースポーツ交流会の手伝いなどの活動にも積極的に参加する機会が多くありました。これらの活動のなかには、「よしボラ」としての参加希望者が多く抽選で決める活動もあり、自分たちが住む地域への関心や地域のためという意識の高さを感じます。これからも活動内容を工夫し、良き伝統である活動を引き継ぎ、身近な自然環境に目を向け、それをより良いものへと育みながら、共に住みつづけられるまちづくりに関わっていきたいと考えています。